

2019年4月吉日

全国広告業団体連合会加盟団体 事務局長様

熊本広告業協会 復興支援事業ポスター送付につきまして

熊本広告業協会では、熊本地震から3年目を迎えるに当たり熊本の気持ちを発信するポスターを制作し、全国へ配布することとしました。

2016年の熊本地震の直後より、私たちは震災後にコミュニケーションに携わる者として社会へ貢献できることを模索してまいりました。最初のきっかけは2016年9月27日に実施した「広告セミナー」でした。同セミナーでは東日本大震災後に震災コミュニケーション分野で政策参与となり、また公益社団法人助け合いジャパンの会長も務めた株式会社ツナグ代表の佐藤尚之氏を迎え、講演いただきました。そのときから広告会社としての機能や役割を被災地や震災後の社会づくりに活かすための模索が始まりました。

協会加盟各社の社員には被災地に入りボランティアを行っているものも多くいました。また大なり小なり加盟各社社員はすべて被災者でもありました。

議論を重ねる中で「あの地震から2年以上たったのだから、今こそきちんとした着地なり、きちんとした昇華をさせないといけないのではないか」「忘れてはいけないし忘れられてもいいけない」、そんな気持ちを広く、共感を得る形で社会に訴えたいという方向で議論がまとまりました。

また熊本地震のあとも日本各地で災害が続きました。熊本の広告に携わる仲間が中国地方に応援に行ったり、あるいは東北や福島へ行き地域の方がたと語り合ってきたりしています。その経験から明確になったのは、被災地同士が繋がることでより災害に強い社会を創ることができるということ。

その経験は私たちが創ろうとしているメッセージへの意欲を勇気づけてくれました。

そうして昨年夏、熊本県教育委員会のお力添えを得て熊本県内の被災地の小学校に呼びかけ「熊本から発したいメッセージ」を募ることとなりました。

その結果、3作品が決定。メッセージを胸の前に掲げた写真をメールで応募頂き、それをもとに私たち広告界のプロのアートディレクター、プロのカメラマンが改めて撮影を行い、コピーをつけるという手法で作品に仕上げました。

そうして制作しましたポスターは全国の広告業団体の皆様へ発送いたしました。

このポスターは熊本で制作しましたが、熊本のことだけではなく「被災地の私たちは未来を見据えて繋がっていく」ということを表しています。

ぜひ貴団体加盟各社にご送付いただき、各内にも掲出いただくことで思いを同じくしていただければと考えています。

■アートディレクター紹介 佐藤かつあき (かつあきデザイン事務所)



1978年 長崎県佐世保市生まれ

2005年 東京都港区のクリエイティブスタジオ ORYEL 入社

2013年 熊本市中央区新町に「かつあきデザイン」開設

2015年 九州アートディレクターズクラブ入会

K-ADC AWARD 2015

「ロボリーマン」プロジェクト部門など 6 部門入選

「tetorigarden」ブック・エディトリアル部門入選

2016年 第56回 ACC CM FESTIVAL 「地域ファイナリスト」入賞

2018年 「ブリッジクマモト」代表

2018年 熊本地震後、利用後に捨てられるブルーシートで製作した「BLUE SEED BAG」がグッドデザイン賞特別賞と「ベスト 100」を受賞。

■カメラマン紹介 宮井正樹・宮井真海（まさみ） 親子 （宮井写真事務所）



今回は、熊本地震の被災者であるプロカメラマン宮井正樹氏は撮影サポートに徹し、同様に被災者である高校生のご子息である宮井真海さんがシャッターを切りました。

《宮井正樹プロフィール》

1971 年生まれ

幼少のころから写真家である父親（宮井政次）の撮影に同行し写真を学ぶライフワークとして阿蘇を撮り続けている。

2008 年 「ピクニックあるいは回遊」

2008 年 第 15 回荻原朔太郎賞受賞者展覧会 伊藤比呂美展 前橋文学館

2008 年 café STAIN 写真展

くまモン公式カメラマン

父親と共に西原村に居を構え、スタジオを併設。

2016 年の熊本地震では住居・スタジオが半壊。自らも消防団員として被災者救助に奔走する。また被災状況の撮影を行った。

《宮井真海プロフィール》

九州学院高等学校在学中

写真・映像カメラマンをめざしインターン等経験中

熊本地震を父と共に西原村で経験

今回のポスターは、熊本広告業協会の各社が議論を交え、立案参加し、撮影立会いなどを行って制作を致しました。

なお末筆となりますが、ご協力いただきました応募者の皆様、学校関係の皆様、撮影にご協力いただきました熊本ヴォルターズの皆様には厚く御礼申し上げます。

以上

熊本広告業協会 事務局

電話 096-355-5351

FAX 096-311-2212

本件についてのお問合せは事務局（真藤）までお願いいたします。